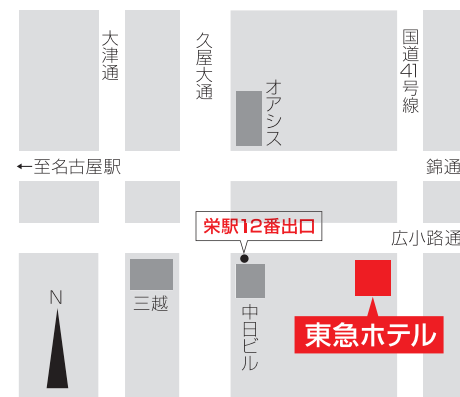


第31期 総会・講演会 中部大学幸友会

会場へのアクセス



●地下鉄名城線・東山線 栄駅12番出口より東へ徒歩5分

中部大学幸友会

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 中部大学内

TEL 0568-51-4740 (直通) FAX 0568-51-1186

<https://www.chubu.ac.jp/> (企業の皆様をクリックしてください)

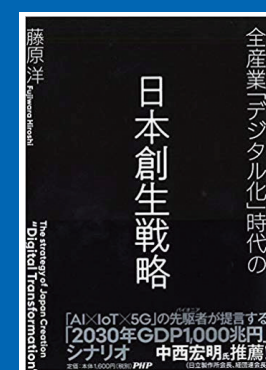
E-mail : kouyukai@office.chubu.ac.jp

講師 藤原 洋氏

この講演は、企業の「デジタル化」の大きなヒントになるでしょう。

中部大学理事長・総長 飯吉 厚夫

●藤原 洋の近著



日立製作所会長、経団連会長
中西宏明氏推薦!

全産業「デジタル化」時代の日本創生戦略

2018年9月1日 発行

経済成長の全プロセスがまるわかり!

- 第1章 第4次産業革命は、日本創生の大きなチャンス—日本が再び世界をリードするとき
- 第2章 IoTがもたらす過去最大の成長—「製造業のサービス化」でつながるビジネス
- 第3章 企業にとってAIは脅威か—置き換えられない人材の条件
- 第4章 フィンテックと金融の未来—日本でも続々と育ち始めた企業、サービス
- 第5章 「世界のイスラエル」にチャンスあり—日本の「実装力」が活きる共創

2019 4 24 wednesday

総 会 午後4時00分～(受付は午後3時00分より)
講演会 午後4時50分～
懇談会 午後6時20分～
(産官学・就職交流会) 懇談会(産官学・就職交流会)会費/5,000円(1名様)
※当日、会場でご納入ください。
会 場 名古屋東急ホテル 3階
〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-8

講
師

FUJIWARA HIROSHI
株式会社ブロードバンドタワー 代表取締役会長兼社長 CEO 藤原 洋氏

演
題

全産業デジタル化時代の日本創生戦略 ～2030年GDP1000兆円のシナリオ～

●講演者からのメッセージ

「AIやITが日本企業の職やサービスを“破壊”するのではないか」。

近年、こうした危機感を煽る言説が喧しい。しかし、見方を変えれば、AIや5G、IoT(モノのインターネット)は、近い将来、日本経済に多大な恩恵をもたらすはずである。

実際、AIやIoTを「武器」に、成長し続ける日本企業が出始めている。そこで本講では、常にデジタル化時代への歴史的出来事に直面してきた経験を踏まえて、「デジタルトランスフォーメーションという大きなうねり」によって、情報通信、流通、農業、金融・保険、医療・福祉がどう変わるか、企業が何をすればいいかについて述べる。さらに、企業経営者、中央官庁の有識会議のメンバー、大学教授などの立場から、「2030年GDP1,000兆円」を実現するための「産」「学」「官」の連携の実例と可能性を提言する。

●講師 略歴

1954年福岡県生まれ。1977年京都大学理学部卒業。東京大学工学博士(電子情報工学)。

日本アイ・ビー・エム(株)、(株)日立エンジニアリング、(株)アスキーを経て、1996年12月、(株)インターネット総合研究所を設立。同社代表取締役所長に就任、2012年4月、(株)ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長CEOに就任。

現在、(財)インターネット協会理事長、慶應義塾大学環境情報学部特別招聘教授、SBI大学院大学副学長を兼務。2011年4月独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学評議会評議員、2013年12月総務省ICT新事業創出推進会議構成員、2014年1月同省電波政策ビジョン懇談会構成員、2016年10月同省新世代モバイル通信システム委員会構成員に就任。学校法人中部大学理事。

【代表著書】

1998年『ネットワークの覇者』日刊工業新聞社、2009年『科学技術と企業家の精神』岩波書店、2010年『第4の産業革命』朝日新聞出版、2014年『デジタル情報革命の潮流の中で～インターネット社会実現へ向けての60年自分史～』アスペクト、2016年『日本はなぜ負けるのか～インターネットが創り出す21世紀の経済力学～』インプレスR&D、2018年『全産業「デジタル化」時代の日本創生戦略』PHP研究所、『数学力で国力が決まる』日本評論社 他多数。



お願い 準備の都合上、同封のハガキにて3月29日(金)までにご出欠をご連絡くださいますようお願い申し上げます。